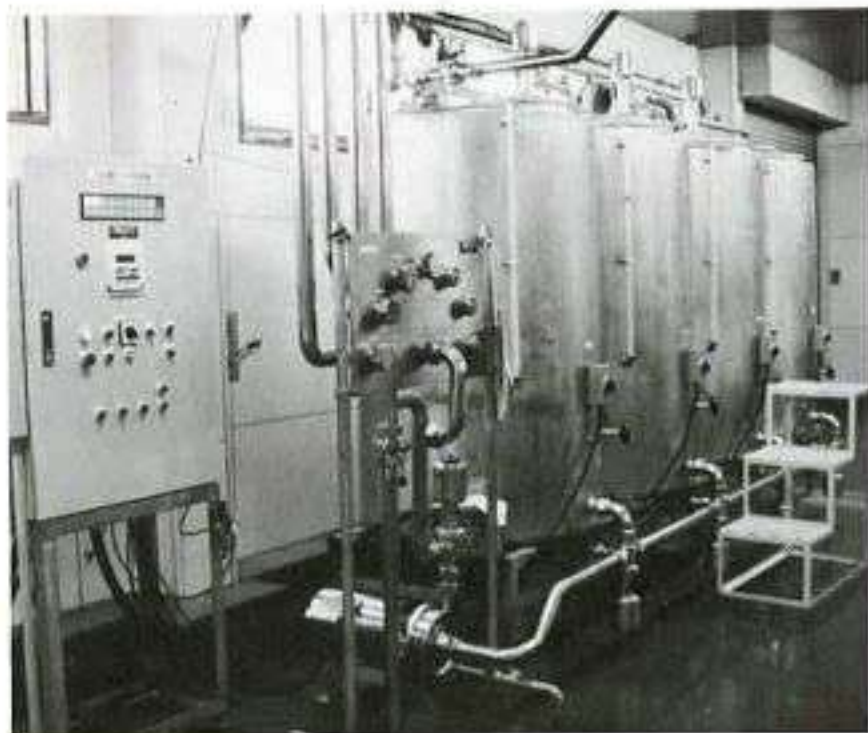
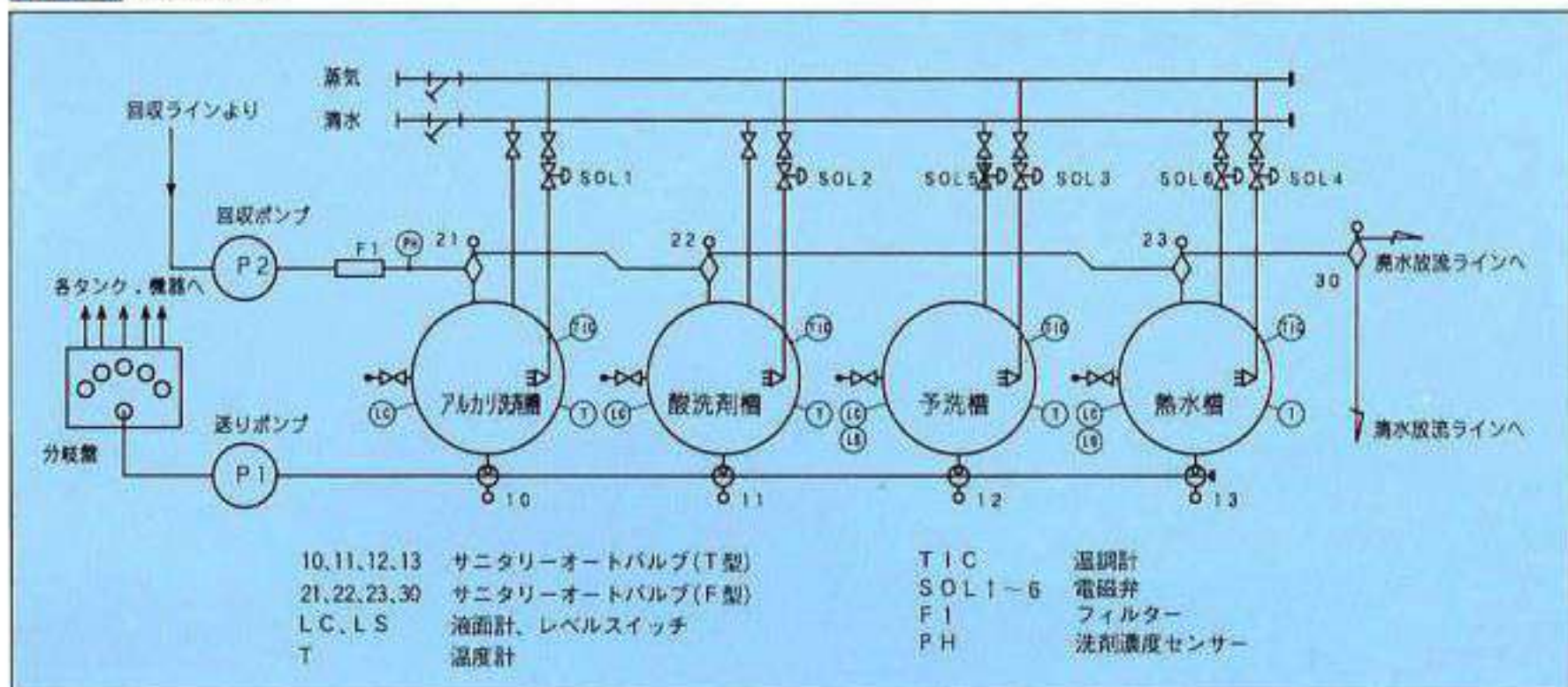


タンク、配管類の自動洗浄 CIP装置(定置洗浄装置)

全自動型、半自動型

概要 CIP装置は、製造終了後、各種タンク、ライン配管などを分解する事無く、すすぎ、洗浄、殺菌を自動的に行なう装置です。全自動型は、温水、酸、アルカリ洗剤、熱湯殺菌がプログラム通り自動的に進行し、洗浄開始から終了まで簡単に、短時間に行える様設計されています。又、酸、アルカリ洗剤の濃度を検知し、効率よく回収出来る様、最新の濃度計を準備し、薬剤のコストダウンを計っています。
半自動型は小規模プラント向に開発した物で、各行程毎にボタン操作で行い、洗浄の省力化と、装置のコストダウンを計っています。いずれにしても食品、乳業プラントでは必要不可欠の装置です。

構成 (全自動型)



仕様

- 基本構成は2槽式、3槽式、4槽式とあり、タンク容量も500ℓ ~ 2000ℓ と目的に合わせて、製作致します。
- 洗浄方法
 1次予洗 → 酸洗 → 2次予洗 → アルカリ洗 → 3次予洗 → 熱湯殺菌
 この標準的な方法に、酸、アルカリの有無の選択も出来ます。
- 洗浄パターン
 洗浄プログラムは、標準的に5種類設定してあります。タンク容量、型式、距離等に応じて最適のパターンを選択出来ます。
- 洗剤の回収
 最新のデジタル濃度計を装備しています。酸、アルカリ水とデジタル値が設定出来ますので、回収、放流が自動的に行えます。